

カウント取得一覧表

西暦 年 月 日

資格認定番号 : _____

会員番号 : _____
(会員のみ記入)

氏 名 : _____

	内 容	カウント	年 度				
			2019	2020	2021	2022	2023
(1)	診療放射線技師総合学会への参加	10	()	()	()	()	()
(2)	診療放射線技師総合学会等において Ai に関する研究発表 (筆頭)	10	()	()	()	()	()
(3)	日本診療放射線技師会誌等において Ai に関する原著論文以外の発表 (筆頭)	20	()	()	()	()	()
(4)	日本診療放射線技師会誌等において Ai に関する原著論文発表 (筆頭)	30	()	()	()	()	()
(5)	日本診療放射線技師会が主催する Ai に関する講演会の受講	5	()	()	()	()	()
(6)	日本診療放射線技師会が許可した Ai に関する講演会等の受講	5	()	()	()	()	()
(7)	日本診療放射線技師会が許可した Ai に関する認定等の資格	5	()	()	()	()	()
(8)	認定期間内における Ai の経験	年間 10 最大 50 /5 年間	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(9)	日本診療放射線技師会が許可した Ai に関する学会等の会員資格	年間 5 最大 25 /5 年間	()	()	()	()	()
更新カウント 合計							

*この枠内は記入しないでください。

生涯カウント 合計	
更新カウント + 生涯カウント	

*記入方法

(1)から(9)の各内容において、年度毎に申請するカウント数を記入してください。

さらに、カウント取得を確認できる資料等には通し番号を付記し、その資料番号を下段の

() 内に記入してください。

なお、(8)のカウント取得を確認できる資料は更新申請書類「Ai 経歴一覧」になりますので資料番号の記入は不要です。

*カウント取得を確認できる資料等

経歴実績を証明する資料 …(8)

所属長の署名及び捺印がある更新申請書類「Ai 経歴一覧」が必要です。

発表実績を証明する資料 …(2) (3) (4)

本人が筆頭であることが分かる発表プログラム及び抄録、または論文の写しが必要です。なお、掲載された雑誌名が分かるようにしてください。

参加受講実績を証明する資料 …(1) (5) (6)

本人の氏名が記載された参加証や受講証等の写しが必要です。

資格実績を証明する資料 …(7) (9)

本人であることが確認でき、有効期間であることが証明できる認定証や会員証等の写しが必要です。

*更新カウント [詳細説明] (2023年7月1日 現在)

(1) 診療放射線技師学術大会への参加

「診療放射線技師学術大会」とは、以下の大会を指します。

- ・第38回 日本診療放射線技師学術大会 (2022年9月16-18日/神戸・ハイブリッド)
- ・第37回 日本診療放射線技師学術大会 (2021年11月12-14日/東京・Web)
- ・第36回 日本診療放射線技師学術大会 (2021年1月8-31日/Web)
- ・第35回 日本診療放射線技師学術大会 (2019年9月14-16日/埼玉)

(2) 診療放射線技師学術大会等においてAiに関する研究発表(筆頭)

「研究発表」とは、口述またはポスターによる一般演題の発表の他、特別企画やシンポジウム等での講演も該当します。

(3) 日本診療放射線技師会誌等においてAiに関する原著論文以外の発表(筆頭)

「日本診療放射線技師会誌等」とは、日本診療放射線技師会誌及びその他の学術雑誌や情報誌を指します。

「原著論文以外」とは、総説や論説等を指します。研究発表の抄録等は含まれません。

(4) 日本診療放射線技師会誌等においてAiに関する原著論文発表(筆頭)

「原著論文」とは、査読があり、学術論文誌で公刊される論文を指します。

(5) 日本診療放射線技師会が主催する Ai に関する講演会の受講

「主催する Ai に関する講演会」とは、以下の会を指します。「Ai 認定講習会」は含まれません。

- ・令和4年度 死亡時画像診断(Ai)研修会 (2022年12月12日-2023年3月6日)
- ・令和3年度 死亡時画像診断(Ai)研修会 (2021年12月6日-2022年3月7日)
- ・令和2年度 死亡時画像診断(Ai)研修会 (2021年2月19日-3月12日)
- ・令和元年度 死亡時画像診断(Ai)研修会 (2019年11月23-24日)
- ・2019年度 Ai (死亡時画像診断) 症例報告会 (2019年7月20日)

(6) 日本診療放射線技師会が許可した Ai に関する講演会等の受講

・日本 Ai 技術研究会 共同研究の成果と今後の展開に向けたシンポジウム(2023年5月31日/Web)

- ・2023年 Ai 学会 冬季症例検討会 (2023年3月18日/ハイブリッド)
- ・2022年度 日本 Ai 技術研究会 学術大会(2023年3月17日/Web)
- ・第14回 九州 Ai 研究会 (2023年2月4日/ハイブリッド)
- ・第12回 茨城 Ai 研究会 (2023年1月28日/Web)
- ・第1回 高知県 Ai 技術研究会 (2022年11月26日)
- ・第13回 九州 Ai 研究会 (2022年9月30日/web)
- ・第20回 Ai 学会 学術総会 (2022年8月27日/ハイブリッド)
- ・第11回 茨城 Ai 研究会 (2022年7月23日/Web)
- ・2021年度 日本 Ai 技術研究会 学術セミナー(2022年3月22日/Web)
- ・2022年 Ai 学会 冬季症例検討会 (2022年3月12日/Web)
- ・第10回 茨城 Ai 研究会 (2022年2月26日/Web)
- ・2021年度 日本 Ai 技術研究会 共同研究班発表会(2022年2月21日/Web)
- ・第12回 オンライン九州 Ai 研究会 (2022年2月4日/Web)
- ・2021年度 日本 Ai 技術研究会 学術大会(2022年1月20日/Web)
- ・第19回 Ai 学会 学術総会 (2021年9月25日/Web)
- ・第9回 茨城 Ai 研究会 (2021年7月19日/Web)
- ・第11回 オンライン九州 Ai 研究会 (2021年3月12日/Web)
- ・第18回 Ai 学会 学術総会 (2020年9月12-13日/Web)
- ・第17回 群馬 Ai 研究会 (2020年3月13日/Web)
- ・第7回 茨城 Ai 研究会 (2020年1月25日)
- ・第16回 群馬 Ai 研究会 (2019年10月20日)
- ・第10回 九州 Ai 研究会 (2019年9月21日)
- ・第17回 Ai 学会 学術総会 (2019年8月24-25日/熊本県医師会館)
- ・第6回 茨城 Ai 研究会 (2019年7月27日)

(7) 日本診療放射線技師会が許可した Ai に関する認定等の資格

「許可した Ai に関する認定等」は現在ございません。

(8) 認定期間内における Ai の経験

「Ai の経験」とは、CT や MRI 等を用いたご遺体の撮影、死後画像の画像処理、Ai の運用や

管理に係る業務の経験を指します。

- (9) 日本診療放射線技師会が許可した Ai に関する学会等の会員資格
「許可した Ai に関する学会等」は現在ございません。